



ひびき

Letter of the M.Y. elementary school
南山田小学校だより

～ ともだちいっぱい かがやく子 ～

学校通信 NO.336
令和6年度7・8月号
令和6年6月28日

ふしぎなたまご ぱっか～ん！

校長 鈴木 智彦

6月8日の土曜参観にご来校、ありがとうございました。一所懸命学ぶ子どもたちの姿をご覧いただけたのではないのでしょうか。当日の2年生の廊下には図工の作品が展示されていました。

ふしぎなたまご

ふしぎなたまごはどんなかたちや色？
中からどんなことがうまれてくるかな…

そこには、画用紙の枠を大きく飛び出した
素敵なおもひや願いが描かれていました。

作品作りの裏にはこんな秘密がありました。

担「みんなのたまご、どうやったら割れるのかな？」

「はさみで、切ればいいんじゃない？」「温めるといいかも」

「呪文をとさえればいい！」「呪文？どんな呪文？」

「秘密の呪文！」「どっかに隠されているのかも！」

早速、子どもたちは「どこかに呪文が隠されてませんか？」と校長室に相談に来ました。

後日、「見つかったよ」と呪文が書かれた巻物を教室に届けました。そこには「寿限無」が書かれています。ちょうど、タイミングよく、図書館で暗唱大会を行っています。

そのお題に「寿限無」も入っており、図書の時間には、学校司書の増田先生から「寿限無」のお話を読んでいただきました。子どもたちは、たまごを割るため、一所懸命、「寿限無」を覚えます。その時の子どもたちの心の中には、呪文を唱えたらどんなものが飛び出すか、いろんなおもひや願いが育っていたのだと思います。クラスで呪文を練習し、いよいよみんなで呪文を唱える！その成果が、作品に現れていました。

学習には指導する内容があります。それは、教科書の中だけで完結するのではなく、子どもたちの日常生活とつなげることによって、より「深い学び」になるということ、この学習で改めて感じました。



たまごからみーなちゃん